

# 浅間山の生立ち

浅間山は10万年前から何度も噴火をくりかえしてきた活火山です。



約10万年～2万年前 浅間山の前身である高直火山が成長を続けていました。この火山は富士山に似た形で、標高は2,800メートル以上あったと推定されています。  
 約2万年前 水蒸気爆発によって山体が崩壊し、土石なだれが山麓に堆積しました。この時発生した泥流は、中之条や前橋付近でも厚く堆積しました。  
 約2万年～1万7千年前 山体崩壊により高直形のカルデラが形成され、その中に高直火山が形成されました。小笠原山がつくられたのもこの時代です。  
 約1万7千年～1万1千年前 火砕流が何度も起き、とくに1万4千年前と1万1千年前の噴火では大規模な火砕流が発生し、南北両方向に30メートル以上の厚さで堆積しました。  
 約1万年～9000年前 仏岩火山の上から溶岩流や火砕流、火山灰が繰り返し噴出して、新しい山体である新山が形成されました。  
 西暦1108(天仁元)年 大規模な噴火が起こり、噴石、火山灰、追分火砕流、舞台溶岩流などが噴出しました。  
 西暦1783(天明3)年 大規模な噴火で噴石、火山灰、追分火砕流、舞台溶岩流、土石なだれ、天明泥流、香掛泥流、鬼押し溶岩流などが発生し、大災害になりました。

## 歴史時代の主な噴火災害 昔の記録に残っている浅間山の噴火災害のうちとくに被害が大きかったものを紹介します

### 天明の噴火

天明の噴火は、1783(天明3)年5月9日<sup>※</sup>に始まってから、噴火したり収まったりを繰り返しながら、次第に活動が大きくなっていきました。7月27日<sup>※</sup>頃から噴火が連続するようになり、8月4日から5日<sup>※</sup>にかけて、最も激しい噴火が起こりました。

発生した現象	火山灰・噴石・香妻火砕流・鎌原土石なだれ・天明泥流・香掛泥流・鬼押し溶岩流
主な被災地域	山麓の鎌原集落・香妻川沿いの地域(当時の軽井沢町)
死者	1400名以上
倒壊家屋	1000棟以上



天明の噴火時に香妻川沿いに流れた火山泥流(浅間山権香妻川附村々絵図(藤原道氏模写))



**天明泥流の流下範囲**  
 1783(天明3)年の噴火で発生した泥流の流下範囲を示しています。  
 天明泥流が発生の原因になった「鎌原土石なだれ」の流下範囲を示しています。



天明の噴火  
 鎌原土石なだれ  
 天明泥流  
 香妻火砕流  
 鬼押し溶岩流  
 香掛泥流

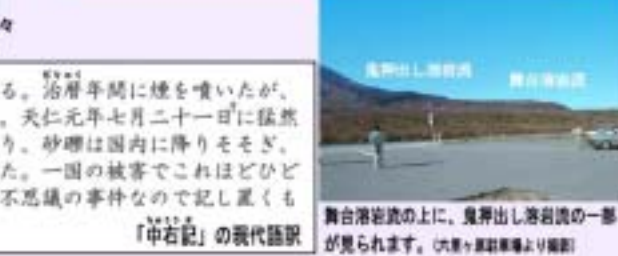
### 天仁の噴火

1108(天仁元)年にも、浅間山は大噴火を起こしました。古い時代のことなので天明の噴火ほどの記録は残っていませんが、中御門右大臣藤原宗忠の書いた「中右記」に噴火のときの様子が記されています。

発生した現象	火山灰(前橋で20センチメートル以上の厚さに積もりました)・噴石・追分火砕流(約80平方キロメートル以上を覆いました)・舞台溶岩流
	[火山噴出物の量は天明の噴火の2倍以上]

天明の噴火時に高温の軽石や火山灰から逃げまどう人々(浅間山権屏之記)

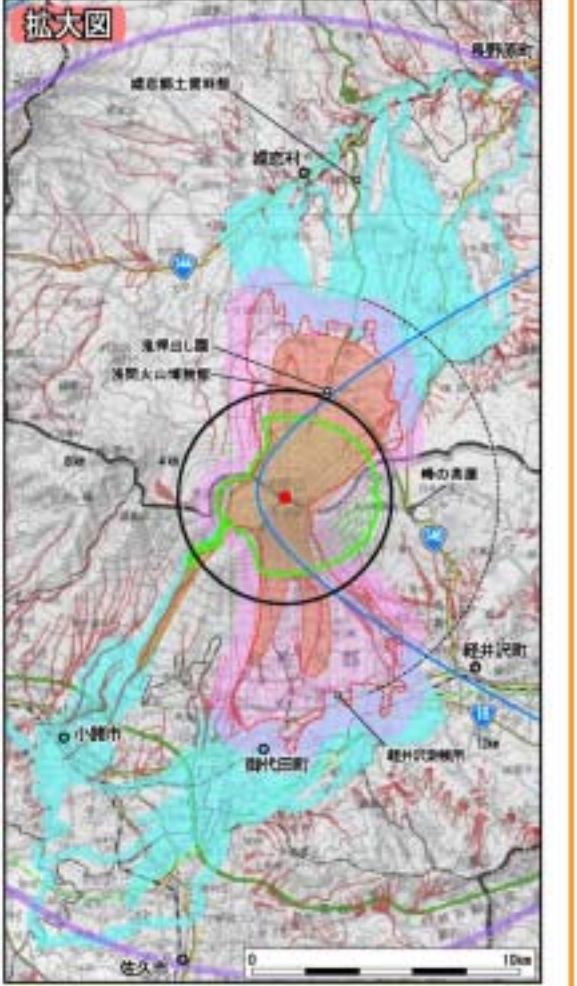
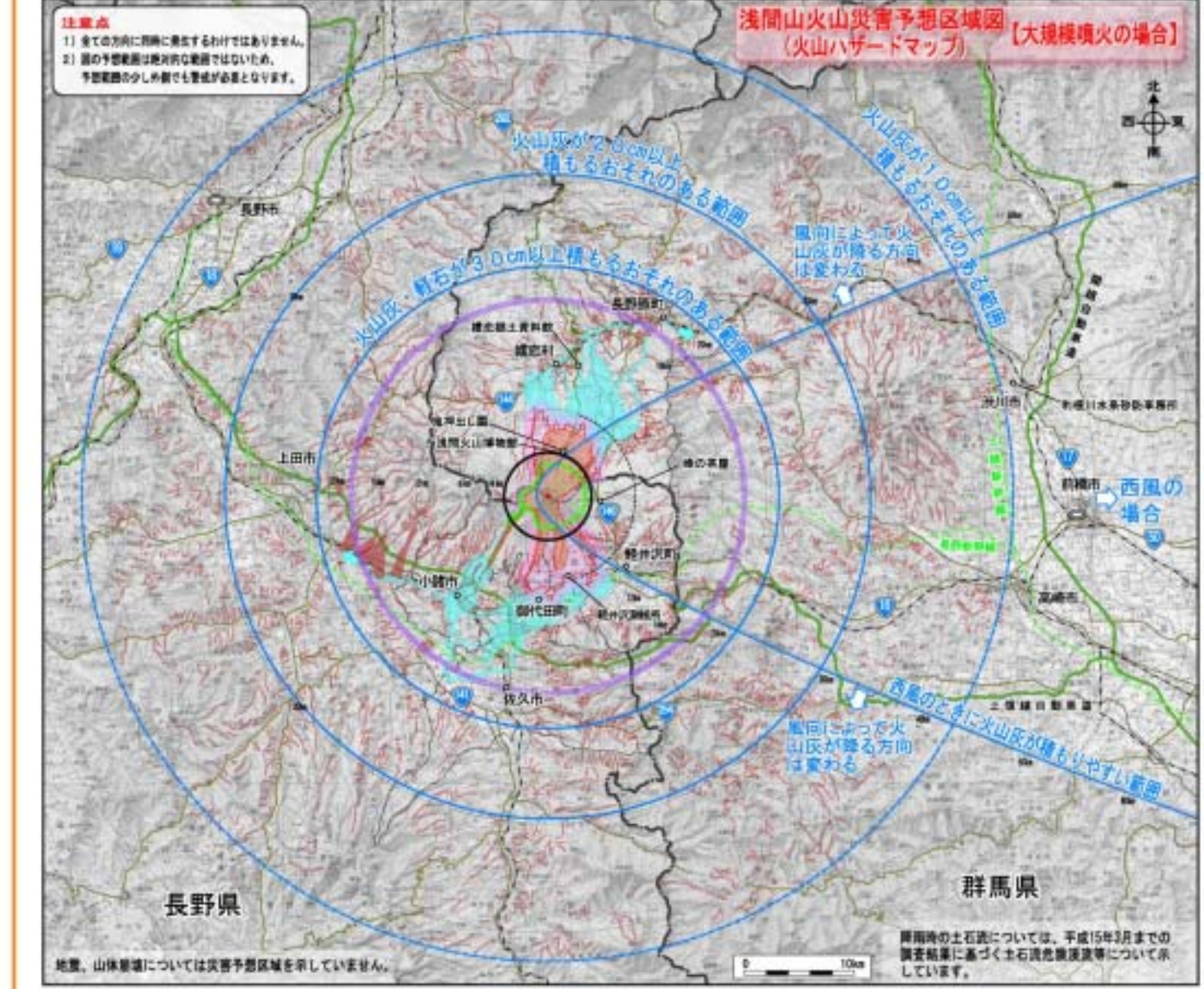
「国内に麻間峯という高山がある。治暦年間に煙を噴いたが、その後しばらく収まっていた。天仁元年七月二十一日に猛然と噴火を始め、煙は天まで登り、砂塵は国内に降りそそぎ、国内の田畑は全滅してしまった。一国の被害でこれほどひどい例は未だかつてない。稀な不思議の事件なので記し置くものである。」  
 『中右記』の現代語訳



天明の噴火  
 舞台溶岩流  
 追分火砕流

## もしも天明の噴火のような大噴火がおきたら...

浅間山は過去2千年間に3回の大噴火を起こしました。たくさんの被害を出した「天明の噴火」もそのうちの一つにあたります。



この欄に示す2枚の予想図は、天明の噴火と同じような大規模な噴火が、浅間山の山頂火口から北側(新高直)あるいは南側(長野側)に向かって発生した場合の災害予想区域を示しています。

浅間山では、天明の噴火よりも大きな規模の噴火がおこることもあります。例えば、天仁の噴火は天明の噴火の2倍以上の規模でした。もしも、天仁の噴火のような大規模な噴火が起きた場合には、左の欄に示したよりもさらに広い範囲に火砕流や融雪型火山泥流の被害がおよぶと予想されます。

記号の色と意味	想定火口	火山ガス	噴石	空振	火山灰(降灰)	降雨時の土石流	火砕流と熱風	融雪型火山泥流	溶岩流
	浅間山の山頂火口を想定しています。	高温のガスが溜まりやすい予想範囲です。	実線: こぶより大きい噴石が飛んでくる予想範囲です(半径4km)。破線: 風下側で小石が飛んでくる予想範囲です(半径8km)。	空振による被害を受ける予想範囲です(半径18km)。	火山灰が積もる予想範囲です。大規模噴火の時には軽石も混ざって降ります。	降雨時の土石流の流下予想範囲です。	火砕流と熱風の流下予想範囲です。	積雪期の融雪型火山泥流の流下予想範囲です。	溶岩流の流下予想範囲です。

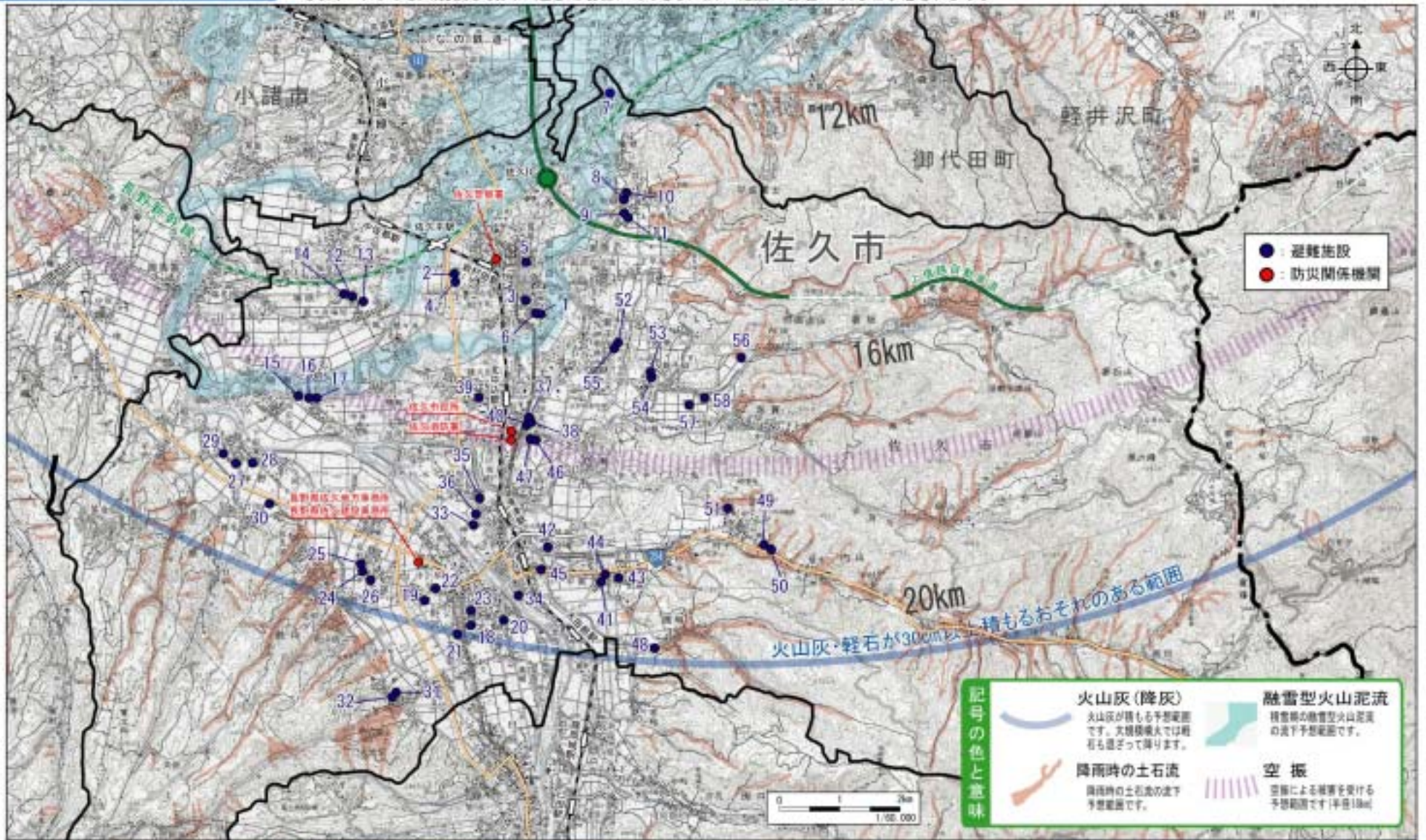


# 避難施設

避難の際には、市役所からの指示に従って行動してください。避難が必要になった時には、広報車などにより市役所から噴火の被害を受けにくい避難施設が指定されます。

下に示した噴火の影響範囲は、天明の噴火と同規模の噴火が発生したときの予想範囲です。なお、これよりも大規模な噴火が起きた場合には、さらに広い範囲に影響が及ぶと予想されます。

避難に関する問い合わせ先  
佐久市役所 電話 0267-62-2111



### 地区別の避難施設一覧

地区	施設名	所在地	電話	地区	施設名	所在地	電話
新井町	1 新井町小学校	大字新井町2641-2	67-3308	津野	36 津野町民対策委員会	大字津野209-1	-
	2 津野中学校	大字津野町1381	67-2419		37 大沢保育園	大字大沢708-1	62-1128
	3 津野保育園	大字津野町3150	67-2281		38 大沢地区社会体育館	大字大沢708-1	62-6041
	4 津野体育センター	大字津野町1340-3	66-7408		39 中込小学校	大字中込461	62-6965
	5 津野会館	大字津野町543	67-2118		40 中込第一保育園	中込3-24-5	62-6844
	6 津野児童遊園	大字津野町2357-1	67-6633		41 中込第二保育園	大字中込1788	62-6432
	7 津野児童遊園	大字津野町1231	-		42 中込児童館	大字中込464-1	62-7234
中込	8 中込小学校	大字中込538	67-3528	43 津久野総合体育館	大字中込2648	62-2920	
	9 中込保育園	大字中込247-1	67-2084	44 津久野武蔵館	大字中込2541	62-2920	
	10 中込児童遊園	大字中込533-1	67-2038	45 津久野青年体育館	大字中込3084-1	67-3791	
	11 中込町民対策委員会	大字中込733-1	-	46 津久野センター	大字中込2547	64-6551	
	12 中込中学校	大字津野306	67-3418	47 津久野山小学校	大字津野5325-1	62-6356	
	13 中込保育園	大字津野707-1	67-3418	48 中込中学校	大字津野2448	62-6725	
	14 中込児童遊園	大字津野319-1	65-8265	49 津野保育園	大字津野5038	62-6722	
	15 高瀬小学校	大字高瀬1200	67-2489	50 津久野山児童館	大字津野5332-2	63-9900	
	16 高瀬保育園	大字高瀬1271	67-2155	51 中込会館	大字津野1687	62-6934	
	17 高瀬児童遊園	大字高瀬1218-1	66-8113	52 津久野児童館	大字津野1177-2	62-6981	
野沢	18 野沢小学校	大字野沢町472-2	62-0108	53 津野婦人の家	大字津野1701-1	63-1492	
	19 野沢中学校	大字野沢318-1	62-0280	54 津野町民対策委員会	大字津野2628-3	-	
	20 野沢児童遊園	大字津野370-2	63-8682	55 内山保育園	大字内山10208-1	62-2848	
	21 野沢会館	大字津野1183	62-0118	56 内山地区社会体育館	大字内山10201	62-8482	
	22 野沢体育センター	大字津野208-1	63-7889	57 内山町民対策委員会	大字内山10889-1	-	
	23 野沢町民対策委員会	大字津野130-1	-	58 津野中学校	大字津野1386	67-2392	
	24 津野小学校	大字津野273	62-0384	59 津野保育園	大字津野1880-2	67-2271	
新井	25 津野保育園	大字津野300-2	62-1258	60 津野児童遊園	大字津野1880-2	67-2271	
	26 津野児童遊園	大字津野203-3	62-3568	61 津野地区社会体育館	大字津野1382-1	67-2892	
	27 津野小学校	大字津野1725	62-0384	62 津野町民対策委員会	大字津野3113	-	
	28 津野児童遊園	大字津野1474-2	62-0384	63 津野小学校	大字津野5128	66-6829	
	29 津野児童遊園	大字津野1802-1	63-0725	64 津野会館	大字津野0008-1	67-2540	

### 防災関係機関連絡先

関係機関名	電話
市役所 佐久市役所	0267-62-2111
消防 佐久消防署-佐久市消防団	0267-62-0119
警察 佐久警察署	0267-68-0110
火山観測 気象庁 軽井沢観測所	0267-45-1304
東京大学 浅間火山観測所	0267-45-7551
佐久水道企業団	0267-62-1250
ライフライン 中部電力(株) 佐久営業所	0267-62-1141
NTT東日本(株) 長野支店(災害対策室)	026-225-4361
小諸ガス管理事務所 佐久支所	0267-68-3252
長野県 佐久地方事務所	0267-63-3111 (代表)
長野県 佐久建設事務所	0279-22-4177 (代表)
国土交通省 利根川水系砂防事務所	0279-22-4177 (代表)
日本道路公団 東京管理局 八王子管轄局	0426-91-1175
日本道路公団 佐久管理事務所	0267-68-8861
JR東日本 中込駅	0267-62-0002
JR東日本 佐久駅	0267-68-8162
財団法人 砂防・地すべり技術センター	03-5276-3272

## 普段から災害に備えて

浅間山ではどのような噴火災害が考えられるのかこの「浅間山火山防災マップ」で知っておきましょう。

普段から非常持ち出し品を備えておきましょう。

家族みんなで避難場所を確認しておきましょう。

地震に備えて家具の固定や壁の補強をしておきましょう。

## もし噴火がはじまったら?

気象庁が発表する「火山情報」に注意しましょう。

市長から避難勧告などの指示があった場合には従いましょう。

即時火山情報で、その後のニュースや市役所の情報に注意しましょう。

緊急火山情報で、いつでも避難できる準備をしましょう。

テレビやラジオ、市役所の広報などから正しい情報入手し、デマやうわさをまどわされないようにしましょう。

## 避難する場合は...

- あわてず落ち着いて行動する。
- 戸締り、電気、ガスの元栓を確認する。
- 貴重品を忘れずに持つ。
- 市街地では車を使わず歩いて避難する。
- お年寄り、赤ちゃん、身体の不自由な人、外国人などの避難を助けましょう。



**災害用伝言ダイヤル(171)**

避難時の安否情報の確認には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」が便利です。

「同音文字」で「171」にかける。自動アナウンスにしたがって簡単に「自分の名前や住所」を伝えることができます。

## 避難のときの持ち出し品

- 噴火が長引くと、避難先で何日も暮らすことも考えられます。大切なものはすぐに持ち出せるよう、心がけておきましょう。
- 特に火山噴火の時に必要となるもの**
- ヘルメット(防災ずきん) → 噴石や落下物から頭を守る。
  - マスク → 細かい火山灰を吸い込むのを防ぐ。
  - ゴーグル → 細かい火山灰から目を守る。
- 主な持ち出し品リスト**
- 必要なものにしるしをつけて、普段から備えておきましょう。
- 着替え、下着類
  - 洗面用具、衛生用品
  - 手ぶくろ・軍手
  - かさ、カップ
  - リュックサック
  - 毛布・タオル
  - 非常食、嗜好品
  - 懐中電灯と電池
  - 携帯ラジオ、テレビ、電池
  - 常備薬、救急箱
  - 現金、小銭
  - シート、ビニール袋
  - ガムテープ(粘着テープ)
  - (腕)時計
  - 通帳、カード、印鑑、証券など
  - 健康保険証
  - 携帯電話(充電器など)
  - ライター
  - ちり紙、ティッシュペーパー
  - ほ乳ビン、ミルク、おむつ、母子手帳(赤ちゃんがいる場合)
  - お年寄り用常備薬など(お年寄りがいる場合)
  - その他個人的な貴重品
  - 位置や大切なアルバム、子供のメカ、パソコンの重要なデータ、仕事の許可証など